|  |
| --- |
| こども家庭委員会企画 |

 認証番号：20180011

202３年度　児童・家庭分野《認定社会福祉士認証研修》

「こども家庭福祉の理論とアプローチ」

科目名：理論・アプローチ別科目

令和４年「こども基本法」の制定、「児童福祉法」等の改正、国の「こども家庭庁」創設など、子ども家庭を取り巻く制度・環境は大きく変わりつつあります。最新の情報を提供し、子どもの権利擁護と最善の利益を目指した認証研修です。是非、一緒に参加しませんか。

**研修目的** ： 児童及びその家族の支援に関して、各種の基礎理論及びソーシャルワーク理論に基づくアプローチの方法等を学習し、実践活用できることを目的とします。

**到達目標** ： ①理論の成り立ち、主要概念、方法論等について説明できる。

 ②理論・アプローチを踏まえて、自身の実践の省察、評価し、実践の改善課題等について説明できる。

**※ 認証研修の修了要件として、レポート課題提出があります。**

**単位** ： 認定社会福祉士制度：児童・家庭分野１単位　　生涯研修制度：１単位

**研修日時** ：2023年11月4日（土）9：30～16：40　受付9：00

2023年11月5日（日）9：30～16：40　受付9：00

**開催場所** ：クローバープラザ　セミナールームＡＢ　（福岡県春日市原町）

**定員** ： 30名（認証研修）

**参加費** ： 会員11，000円　　県外会員16，500円　 非会員22，000円

※受講のみ希望の方　1日当たり

会員5,000円　　　　県外会員7,500円

非会員10,000円　　 大学生・大学院生5,000円

※受講のみをお申込みの方について、全２日間受講されても認証研修修了に

振替えすることは出来ません。修了証の発行もございません。

**参加資格** ： ①社会福祉士有資格者で子ども家庭福祉分野ソーシャルワーク実践をされている方、又はソーシャルワーク実践を目指している方

　　　　　　②社会福祉資格取得を目指している学生又は大学院生

　　　　　　③スキルアップのために勉強したい方

**申込方法・締切** ： 右のURL・QRコードよりお申し込みください。<https://x.gd/oXR51>

**２０２３年１０月６日（金）申込締切**

可否決定を案内いたします。入金確認次第受講確定します。

（注）コロナ感染状況及び自然災害発生等によりやむをえず研修会をオンラインへ変更もしくは中止する場合がございます。

|  |
| --- |
| 【お問合せ先・申込先】公益社団法人福岡県社会福祉士会　事務局　﨑村〒812-0011　福岡市博多区博多駅前3-9-12　アイビーコートⅢビル5ＦTEL : 092-483-2944　　　FAX : 092-483-3037E-mail : info@facsw.or.jp |

**講義テーマ及び講師**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 時間 | テーマ | 講　師 |
| 第１日目11月4日(土) | 9:30～11:00 | **「児童虐待の社会的逸脱論とその家族システム理論」**(1）児童虐待の社会的規範と逸脱行動の意味(2)子どもの問題行動等の理解と事例演習(3)児童虐待と現代の多様化する子育て家族システム | 元:児童相談所児童福祉司現:筑紫女学園大学非常勤講師田中伸助氏 |
| 11:10～12:40 | **「児童虐待における理論とアプローチ」**(1）児童虐待の理論的定義、児童虐待防止法の理解(2）被虐待児の発見と対応ツール。成長発達への影響(3)虐待対応の時期とそのポイント（初動期、情報収集・整理、アセスメント、支援計画、評価・終結）(4)要保護児童家庭への支援的アプローチ手法 | 西南学院大学教授　安部計彦氏 |
| 13:30～15:00 | **「ジェンダー論、性的マイノリティーの歴史と理論」**(1)子育てにおけるジェンダー視点からの課題(2)性的マイノリティーに対する配慮と差別・いじめ問題(3)性的マイノリティーに対する支援のアプローチ | 北九州市立大学名誉教授　河嶋静代 |
| 15:10～16:40 | **「子どもの権利とアドボカシーの法律的位置付け」**(1)こども基本法における子どもの権利と親権の問題(2)子どもアドボカシーの法的根拠と課題(3)子どもの意見表明支援員の意義と役割 | NPO法人アドボカシーセンター福岡理事長　安孫子健輔氏(弁護士) |
| 第２日目11月5日(日) | 9:30～11:00 | **「子どもの貧困とヤングケアラー、その社会政策等のアプローチと個別対応」**(1)子どもの貧困の現状と課題(2)子どもの貧困に対する政策的アプローチ(3)子どもの貧困・ヤングケアラーへの個別的対応 | 筑紫女学園大学准教授　大西良氏 |
| 11:10～12:40 | **「児童心理学、発達心理学、認知行動療法とそのソーシャルワークへの適用」**(1）児童心理学、発達心理学、認知行動療法(2)子ども家庭への行動療法等の心理的アプローチ(3)心理的アプローチによるソーシャルワーク事例演習 | 調整中 |
| 13:30～15:00 | **「障害をもつ子どもの発達支援と地域共生社会の構築-医療的ケア児支援を通じて見えるもの-」**(1)障害をもつ子どもの発達支援《講義》(2)医療的ケア児の現状と課題《講義》(3)地域共生社会の構築-医療的ケア児支援を通じて見えるもの- | 福岡県医療的ケア児支援センター医療的ケア児等コーディネーター横田信也氏 |
| 15:10～16:40 | **「地域の子ども家庭へのアプローチ」**(1）要支援子ども家庭に対する地域アプローチ(2)個別の子ども家庭の地域共有アプローチ(3)地域アプローチの事例検討及び演習 | 子ども家庭支援センターあまぎやまセンター長坂口明夫氏 |